

令和5年度世界に羽ばたく人材育成特別表彰

うえ つ ばら あや か
上津原 朱花さん



私は、九州産業大学附属九州産業高等学校1年の上津原朱花です。中学1年生の時、太宰府市に引っ越してきました。最初は友達ができるか不安でしたが、先生をはじめみなさん優しく、とても楽しい中学校生活を過ごすことができました。

私は5歳から、バトントワリングという競技を習っています。現在、所属しているゴールデンハーツバトンチームでは、昨年8月にイギリスのリヴァプールで行われた「IBTF世界バトントワリング大会アーティスティックグループ部門」に出場し、世界一に輝くことができました。前回の大会で先輩たちが優勝していたため、緊張とプレッシャーを感じていましたが、世界大会当日は、お祭りのように楽しく、あっという間に終わってしまいました。

また世界大会に出場できるよう、日々の練習に励みたいです。結果を出し、太宰府市に良い報告ができるように頑張ります。応援よろしくお願いします。

特集

9月は世界アルツハイマー月間です
..... 5

わたしたちで太宰府の景観を
守ろう 6～7

市からのお知らせ 8～11

連載 12～23

なんでも情報コーナー
..... 24～31

太宰府の文化財 32

市政ニュース

市民の活躍

みちした みさと

道下美里選手パリ2024パラリンピック市民壮行会開催！

市内在住でパリ2024パラリンピック視覚障害女子マラソン日本代表の道下美里選手の市民壮行会をプラム・カルコア太宰府（中央公民館）で7月31日(水)、開催しました。市民やスポーツ団体、障がい者団体はじめ市内各団体から道下選手を激励しようと約200人が参加しました。

道下選手はパラリンピックリオ大会で銀メダル、東京大会で金メダルを獲得し、3大会連続のメダル獲得が期待されています。壮行会では、市内学校に通うデフバドミントン日本代表の矢ヶ部真衣さん、デフサッカー・デフフットサル女子日本代表の久住呂文華さん、100mハードル中学歴代4位の記録を持つ今村好花さんから花束とエールを贈りました。楠田市長から、会場に集まった皆さんの直筆メッセージが書かれた国旗を手渡しました。道下美里選手は「たくさんの人の応援があって今があります。自分がやってきたことをパリで発揮できれば結果に結びつくと思います。メダルをしっかりとって帰り、若い選手にバトンをつなげるような走りをした」と語りました。9月8日(日)が本番です。太宰府市から熱い声援を送りましょう。



道下選手の決意表明を聴く会場内の参加者



道下選手(中央)へエールを送りました



花束を受け取る道下選手